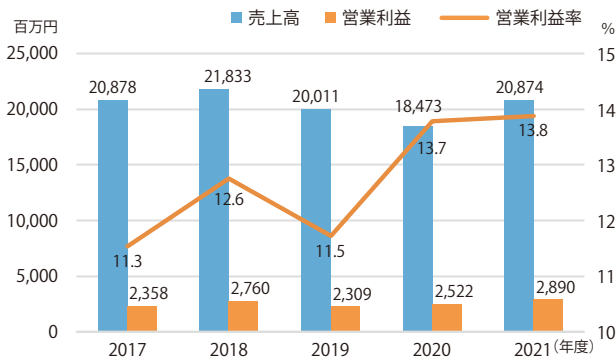


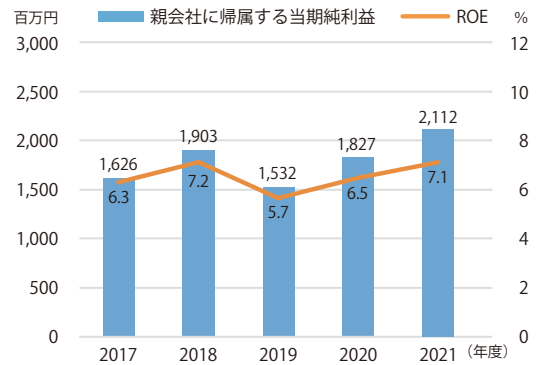
# 財務ハイライト

## ◆ 売上高・営業利益・営業利益率



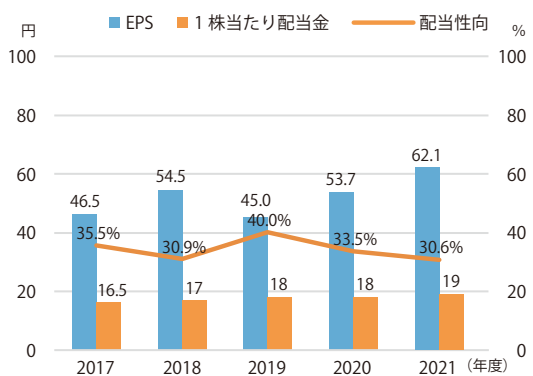
2021年度の売上高は、前期比13.0%の増加となりました。主力の取出口ボットの販売において、新商品の販売活動に注力し、部品調達難が続く中においても納期厳守に努めたことで、売上を伸ばしました。営業利益は、売上高の増加により、前期比14.6%の増加となりました。

## ◆ 純利益・ROE



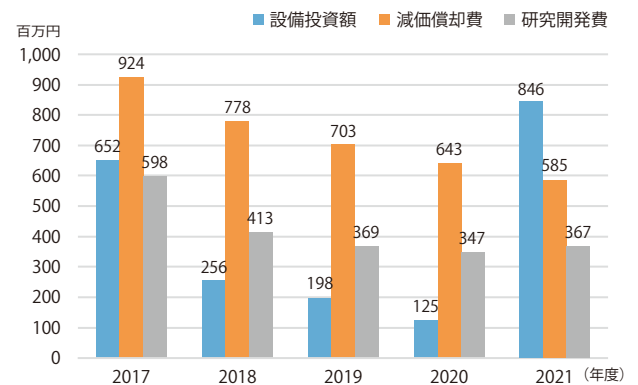
2021年度の親会社に帰属する当期純利益は、売上高の増加や為替差益の発生により、前期比15.6%の増加となりました。ROEは7.1%となり、前期より0.6pt上昇しました。

## ◆ EPS・配当金・配当性向



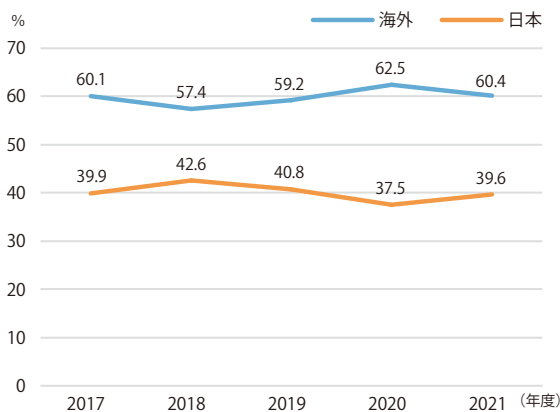
安定的・継続的な株主還元を実現するため、連結配当性向は30%以上を目標にしています。連結業績の向上を図り、普通配当の水準を引き上げていきたいと考えています。なお、2018年4月1日に1:2の株式分割を実施したため、2017年の値は調整をしています。

## ◆ 設備投資額・減価償却費・研究開発費



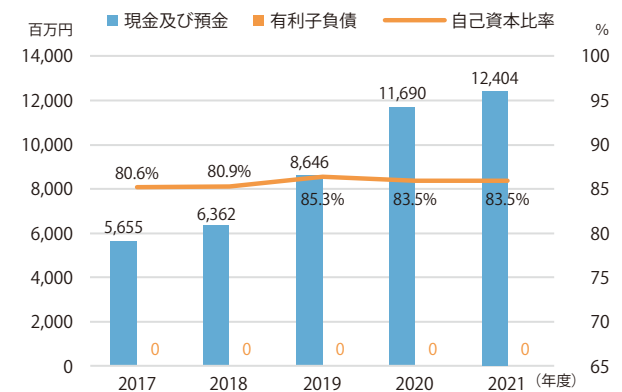
2016年の新本社工場建設に伴う減価償却費は、年々減少しています。2021年度の設備投資の主なものは、本社近接土地購入費用などです。研究開発費は、従来よりどのような経済状況下においても一定の投資を継続しています。

## ◆ 海外売上高比率



海外売上高比率は、近年は60%前後で推移しています。前年度に低迷していた国内市場の回復があったことにより、2021年度は国内販売比率が増加しました。

## ◆ 現金及び預金・有利子負債・自己資本比率



ここ数年は大きな支出がなく、現預金残高は増加しています。将来の需要増、適切なタイミングで機動的な投資が行えるよう、備えてまいります。